

## 推薦文

作者の清水健太郎先生（シミケン）は、僕の大学時代からの親友です。彼は医学生の際は、医者より小説家を目指していました。味のある漫画も書いて、医学以上に芸術の才能を持った人でした。精神神経科を目指していたので、整形外科医になったときには、びっくりしたのを覚えています。

その後、地方の基幹病院で脊椎を専門とする整形外科としての活躍を聞き、漫画の才能からくる手先の器用さが整形外科手術にも役立っているのだと合点がきました。彼には、慶應医学部の新聞にも四コマ漫画を書いてもらっています。

2013年に上梓された『整形外科ガール』は、手書きのイラスト満載の看護師向けの教科書で、彼の才能が生かされた名著だと思います。『整形外科ガール』の若手医師向けの教科書を書いてみては？ とすすめ、8年の年月を経て、できあがった本書のゲラを読んでたまげました。若い整形外科医への愛情のこもった、整形外科プライマリケアのすばらしい教科書ではないですか。豊富な写真により、見てわかる教科書であり、彼の上手なキャッチコピーにより、骨折が理解しやすくなっています。

シミケンの豊富な臨床経験から編み出される至極のpearlに満ちあふれた本です。あえて、縦書きとしたのは、文芸賞の受賞者らしい、純文学へのオマージュなんだと思います。

慶應義塾大学医学部 副医学部長  
医学教育統轄センター教授  
門川 俊明

## はじめに

整形外科は、たいていの病院にあるポピュラーな科、そして大変インソガシイ科です。救急、手術、外来、病棟、検査、書類（よその科は、どれかがヒマだったりする）……どれもテンコ盛り。ドクターは、早朝から夜深<sup>よふ</sup>けまで病院を駆け回っているにチガイナイ。かくいう筆者も、若僧・弱輩・新米の時代、いきなり三次の外傷病院に派遣され、毎晩押し寄せる救急車を前に心底から途方に暮れたものでした。

新人は勉強する余裕がない。上司<sup>オウシ</sup>も教える時間がない……

この本はそんな現状<sup>かんが</sup>を鑑<sup>かん</sup>み企画されました。とくに、整形外科以外の医者や、救急の最前線にひとりで立つ研修医くんのために中味を盛りました。

龐大<sup>ほうだい</sup>で（大学<sup>だいがく</sup>によっても、病院<sup>びやん</sup>によっても、医者<sup>いしゃ</sup>によっても方法がちがう！）、変り身が早い、そんな整形外科の大海を泳ぐにあたり、よき羅針盤<sup>らしんばん</sup>となりますように。

## 主訴から推理する。

患者さんが整形外科の門を叩くキッカケは何か。痛い、しびれる、動かない、変形した……。これらの訴えから聯想れんそうされる病名をまとめた。本人の書く問診票からも道すじを立てよう。

※ もちろんこの表からはずれるケースは多い。

※※ 骨折脱臼などの外傷、感染、脊椎の疾患のいくつかは省略。なにしろ多いのである。

### 1 全身が……

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 痛い！（あちこち） | 関節リウマチ・がんの転移・骨髄腫             |
| すぐ骨折する！   | 骨粗鬆症（老人）・がんの転移<br>骨形成不全症（小児） |

## 2 肩が……

|       |  |
|-------|--|
| 痛い！   | 肩関節周囲炎（石灰沈着）<br>上腕二頭筋炎<br>リウマチ性多発筋痛症（両肩） |
| 動かない！ | 肩関節周囲炎 腱板損傷                              |
| 下がった！ | スプリング変形 Loose shoulder                   |

Coffee Break

## 整形外科は砂時計の反対？

星の数ほどある数多<sup>あまた</sup>の病気（WHOのICD分類をみよ！）から検査で病名をしぼりこむ。こういった除外診断は、どちらかというと内科の手法かもしれない。整形外科のメソッドはむしろ逆だ。診断は、骨折のようにレントゲン一発で診断がつくことも多い。しかし、スタートはそこから。学会でもケンケンガクガクの選択肢から一番ふさわしい術式を見つける。これが整形外科の醍醐味<sup>だいごみ</sup>の一つかもしれない。



犬猫に咬まれたら又うな！

犬咬傷や猫咬傷はかみくちをぬうと、菌をなかに閉じこめてしまうため、開放にしておくのが基本だ。破傷風の注射を忘れずに。

また、**海に入ってはダメ！絶対ダメ！** 海には未知のバクテリアとかがウジャウジャ泳いでいる。手の傷の抜糸前に海水浴をした患者さんの腕がパンパンになり、結局、上肢切断を余儀なくされた症例を筆者は経験している。

Coffee Break

### 指輪のとりかた

指輪が、関節（とくにPIP関節）のふくらみにひっかかるからはずれない。いったん細いところに移動させ、**ピンールを短冊状**に幾つも指輪におし、**石けん水**でゆるませると抜ける。ちなみに爪ネイルのアーチは大抵アセトンでとれるよ！



◆ ネイル



◆ 指輪

## 下肢

## □ 大腿骨転子部骨折

- 高齢者に多い骨折だ。
- 転倒の場所は自宅が多い。
- 準緊急。入院し待機するならば、けん引を行い、手術にそなえる。
- 大骨折であり、出血が多いことを見逃しがちなので注意。

緊急性 ★★

老人の手術は早い

ほどよい



## □ 大腿骨頸部骨折

- 転子部骨折にくらべると痛みが軽いことがある。
- 人工骨頭置換術になることが多い。
- ズレていないときや、若年者だと骨接合術になることも。

緊急性 ★★

内側は案外痛くない

